



国際ロータリー第2500地区帯広ローターアクトクラス広報誌

アクトをさせ

2005年~2006年

第6号

2006.6.23

広報 茂古沼 理 絵
担当 谷 本 陽 子

例会活動報告 第757回 食いしん坊万歳

伊藤 圭子会員

今回はJICAとの交流という事で 皆で手巻き寿司パーティをしました。今回はクラブ奉仕プレゼンツという事で 私達は皆かなり気合いを入れて準備に取り組みましたが参加された皆さん いかがでしたでしょうか？ 私個人的には 英語があまりわからず始めの方は正直どう交流しようかと考えていましたが 伝えたい事をジェスチャーしたり紙に絵を書いたりして交流しました。企画側という立場だったので自分のテーブルの人以外とは ほとんど お話しできなかつたのは残念でしたが 普段、交流する機会がない方達と話ができる良い経験になりました。 皆さんは魚へんの漢字 いくつくらいわかりましたか？

例会活動報告 第758回 ビールを通して見る世界の中の日本

加藤 慎也会員

今回の国際奉仕委員会の担当例会は、委員会にすら出席できる国際奉仕委員がほとんどおらず、また委員会を開く時間が全然ありませんでした。しかし、ビールを通じて見る世界の中の日本というテーマで、会員の皆様に例会を楽しんでいただくことはできたのではと思います。皆様の身近にあるビールという物をマニアックに味わっていただけたのではないか（笑）。国際奉仕委員長もニヤニヤしながら「このビールは・・・」と目を輝かしていました。私自身今年度の途中からの入会で、まだわからないことだらけではあります、最終の担当例会を終えて、悔いというものはなく、国際奉仕委員会で良かったなと思います。お疲れ様でした。

例会活動報告 第760回 明るく楽しく

清水 美文会員

前半は各委員会のマイ・ベスト例会を発表していただき、後半は趣向を少し変えて…。5年前の地区大会に参加されていた会員の皆さんが書いた5年後の帯広RACへのメッセージが今年度届きました。当時50名を越える会員数を誇っていた頃とは当クラブを取り巻く状況も随分変わってしまいましたが、素敵なメッセージの数々を読んでいるうちに元気が出てきました。それをヒントに、今年度最後の四役担当例会では「未来の自分へ・アクトへの贈り物」をテーマに5年後（正確には4年後）の自分、そして35周年を迎える帯広RACへのメッセージを皆さんに書いて頂く事にしました。ですからこの例会は35周年の時にやっと完結するのです！という事で皆様お楽しみに！

例会外活動報告 第32回地区大会 2006.5.28~29 永守 祥嗣会員

富良野市で開催された地区大会に参加しました。5名の会員が卒業されるということで、おめでとうという気持ちと寂しい気持ちが混在しています。他のクラブの会員の中にも何人か知っている会員が卒業されるので、アクトとして会うのはこれが最後なのかなあと思うと感慨深いものがありました。地区大会テーマの「エコ」に関する講演がありました。富良野市のごみのほとんどがリサイクルで、埋め立てているごみはほとんど無いということに驚かされました。また、ごみ袋にまで景観に配慮したデザインを採用しているということで、このような日々の取り組みが観光地としての魅力となって現れているのではないかと考えさせられました。

ビールパーティーで発表した決意表明を踏まえて、 それとの一年間を聞いてみました



清水 美文 会長

私が書いたのは、もちろん！クラブテーマである「明るく楽しく」でした。会員の皆さんがそれぞれの個性を存分に発揮して、不ぞろいではあっても一人一人が輝いている、笑顔でのびのびと活躍できるクラブになれたらいいな、そんな思いを込めたテーマです。私にとって、最高に自慢の四役！と愛すべき個性的な帯広RACの皆さん！と一緒に歩んだこの1年、とてもとても楽しかったです。カタチだけが完璧である事よりも、笑顔でいられる事を大切にし、不完全な若い私達だからこそ小さなキッカケで大きく成長していく可能性に溢れている、それがこの帯広ローターアクトクラブの魅力！だと思います。力の及ばない事は多々ありましたが、マイペースな私に飽きれる事なく付き合い、見守り、協力して下さった全ての皆様に感謝致します！

長田 彰浩 副会長

今年度最初にテーマだったか目標だったかで、「信頼」というのを色紙に書いた気がしますが、30数人の人間が集まると30数通りの考え方がある訳で、意思を統一することは難しいものです。そこにはやはり譲り合える、協調し合えるお互いの「信頼」が必要なんだと思い色紙に書いたんですが、今年度アクトの中に少しでも「お互いの信頼関係」が生まれてくれていたら、四役としての責務を果たせたんではないでしょうか。今年度、「清水」「岡崎」「吉積」「松本」そして「自分」。この五人のメンバーで四役をやれて本当に良かったです。楽しかったです。どうもありがとうございました。そして、私達四役と一緒に頑張ってくれた各委員長、会員の皆さん本当に一年間ありがとうございました。

岡崎 早智 幹事

今年度のビールパーティで行った決意表明。私が色紙に書いた言葉は「素直な心」。達成できたか出来ないかと聞かれたら出来たと答えるだろう。自分の意見や考えはあるけれども、周りの意見には耳を傾け一度は自分の中に取り込んでみることは実践できた。ただ、自分と他の人両方の意見や考えをうまく混ぜ合わせて言葉にしたり新たな意見を出したりするのはうまく出来なかつたので、今後の課題としたい。

吉積 香織 副幹事

今年度はあっ！？という間の1年でした。会長の美文さんに1年間付いていきたい！！その強い思いから始めた副幹事でしたが、本当に楽しい1年でした。ただ副幹事としては皆さんに迷惑を掛けてばかりで大変申し訳なく思っています。今年は弱音を吐かない、そして笑顔が一番！！を目標にしてきました。弱音を吐くことはたくさんあったけど、アクトのみんなと活動してきてすごく楽しかったし、四役のみんながいてくれたからこそ笑顔で頑張れました。1年間温かく見守ってくれたアクトのみなさん、そして家族の様に吉積のわがままを聞いてくれた四役のみなさん、本当にありがとうございました。

松本 晃好 副幹事

入会して2年目、初めての役職ということもあり、何もかもがわからない事だらけの中、皆様方のご協力のおかげで今年度も終えようとしてあります。副幹事を務めさせて頂いて、とても勉強になった事、それはお蔭様という気持ちを常に持て仕事をすることの大切さを実感しました。なにひとつ自分一人で成し遂げるものはありません。副幹事という仕事も何とか勤めさせていただけたのも皆様のご協力があっての事だと感謝しています。今後も様々な場面でこの気持ちを忘れずにいていきたいと思います。一年間副幹事という役職を務めさせて頂きありがとうございました。



国際奉仕委員長 荒井 之也

今年度、私は物事に執着せず、人の話を謙虚に聞き、出迎進退を明らかにする「潔（いさぎよい）」をテーマに活動して参りました。まあ、今年度が終わるに当たって自画自賛ながら良く出来たのではないかと思います。ただ、今年度の帯広クラブに対して思ったことは、潔さが足りないなあと。物事に執着しすぎるといました。人は迷う者だから仕方ないにしてもね・・・。まあ30人強いれば、様々な考え方を持った方がいるし、アクトとは自分のやりたいことが出来る場ではある。しかし、自分の考え方や要望を人に押しつけるばかりではなく、謙虚に人の話を聞き周りへの配慮をして、その結果について自省をすることも必要だと思います。そして、物事に執着せず自然体で事に臨んでいただけたらと思います。

社会奉仕委員長 北橋 康孝

今年度社会奉仕委員長の北橋です。さて一年を振り返って考えてみると四役・委員の皆さんにずいぶん助けられました。この場を借りて御礼申し上げます。ありがとうございました！！さてビールパーティーの際、一年間の目標を述べました。それが「楽・新・挑」ですが、イカダ下りで楽しみ、日本酒例会で楽しむ事と新しい事ができたと思います。又、未来予想図Ⅱ・リングブル例会ではある意味挑戦することができて、これまた良かったと思います。2度目の社会奉仕委員長でしたが、色々な事を勉強させて頂きました。本当にありがとうございました。そして次年度は会長として頑張りますので皆様のご指導・ご協力宜しくお願ひ申し上げます。

専門知識開発委員長 河村 知明

一年間の目標は、熱血・情熱でした。皆さんに熱血・情熱を伝えたいと共に、実は専門メンバーが熱血・情熱になるぞと言うテーマでもありました。なので、今年の専門は、委員がやりたいと思うことを順番にやってきました。人にやらされるのではなくて、自分でやりたいと思うことに対しては、情熱の沸き方が違うのではないかでしょうか？みなさん、自分に正直に生きていますか？そして、好きなことを、全力でやっていますか？そういう事ができる人生は輝いていると思います。僕から見て、それぞれやりたいことをやってくれたメンバーは、指向を凝らし頑張っていた姿が、輝いていたと思います。そして、それぞれのメンバーの意外な一面も見られました。文句を言わずにやってくれて委員の皆さん、そして、専門のプログラムに参加してくれた皆さん、今年一年ありがとうございました。

クラブ奉仕委員長 斎藤 智教

「ひたすらに」今年のクラブ奉仕委員長として、委員会運営が効率よくしかも、円滑に進めるために自分自身の姿勢を表した目標である。与えられた使命をいかに、クラブ全体に還元できるか。委員長2期目で、更なる自分自身のステップアップを目指した結果、良きメンバーに恵まれたお陰で、自分自身と共に、メンバー夫々のレベルアップに繋がったと自信を持って言える。このメンバーに感謝の言葉を捧げたい。只只、ありがとうございました。

卒業生コメント

茂古沼 理絵 会員

みなさんもご存知の通り、クラブにはおよそ9年間お世話になりました。ここで培わせてもらったこと、どんな場面でも言えますが、「みんな仲良く」に尽きます！相手を思いやり、仲間として信頼し、お互いに助け合う関係、仲間のいい部分を見て仲間を好きになって欲しいです。少しくさいですが、9年間過ごした年寄りの遺言だと思って（笑）信じて実行して下さい。長く在籍して四役の役職を経験できなかったのは少し心残りですが、人間向き不向きがあり、私はキャラで勝負してきました（笑）みんなも、その個性を信じておおいに楽しんでね！

高野 千草 会員

アクトに入会して色々な活動をして色々な所に行ってたくさんの仲間が出来たことが楽しい思い出です。以前は人前に出たり、人と話すことが苦手でしたが入会したことで少しほは克服でき感じています。何よりアクトをきっかけに家族が出来たことそれが私の宝になりました。皆さんお世話になりました。有難うございました。

田村 啓 会員

約4年間アクトに在籍して楽しい事はたくさんありましたが特に印象に残っている行事といえば「イカダ下り」と「全研」でした。準備期間を経て当日成果を出すという点ではどの例会にも共通していますが達成感という意味ではやはりこの2点が印象深かったと思います。あとアクトで得られた物は「仲間」だと思います。先輩や後輩色々な方に公私共に支えていただき感謝の気持ちで一杯です。そして築いた関係をこれからも大事にしていきたいです。アクト活動への思いは人それぞれ違うと思いますが私は自分に対しての評価というよりは自分なりに出来る事を精一杯頑張ってきました。そしてお金では買えない大事な物をアクトを通して得られたと思っています。

高野 朋洋 会員

アクトで活動してきた4年間で身についたこと…いろいろあるけど強いてひとつ挙げるならば『自覚』でしょうか。自分のことをしっかりと見つめ、自分の取るべき行動を導きだす。それはきっと置かれている立場や状況で変わってくるもので、例えばアクトで役員をやっていた時の自分と、今の自分とでは、とるべき行動も守るべき物も全く違うわけで…それはものすごく難しいことで、きっと今の自分にもまだまだ出来ていないことなのだけど、少なくともそんなふうに考えられるようになったのは、4年間のアクト活動の賜物だと思っておりますがどうでしょう。

吉積 香織 会員

アクトに入会してから早4年、最初はアクトのコトは何も知らず、その場のいきおいで入会した様なものでした。卒業が近づいてきて色々な事を考えてみると、入会してからの4年間、本当に色々な事がありました。楽しかった事、嬉しかった事、そして悲しかった事、辛かった事さえすべてがとてもいい思い出です。忙しくて嫌になったり、辞めたいと思った事もあったけど、4年間アクト活動を頑張ってこれたのは、みんながいてくれたからだと思います。アクトに入会してたくさんの人と出会いそしてたくさんの活動をしてきたことは私にとってとても大切な財産です。みなさん、大変お世話になりました。そして今まで4年間とても楽しかったです！！本当にありがとうございました。でも卒業しても仲良くしてね！

清水 美文 会員

長い様で短く、短い様で長い、アスターとして活動して来た3年半、副会長、地区副幹事、会長と、随分と張り切った活動を続けて参りました。その中には苦労した事・辛い事も多々あった気もしますが、幸せな性質なので今は全てが楽しい思い出へと昇華され、仲間と共に苦労や笑顔を共有し過ごして来た日々は私にとって、大切な宝物となりました。30歳で卒業という、限られた期間の中、自分の人生の大変な時間を使って参加しているのだから、めいいっぱい楽しんで、頑張ってやろう！そう思って活動した結果、わかった事は、頑張った分だけアクトを好きになり、頑張った以上に楽しかった、という事。これは、仕事や人間関係にもあてはまるかもしれませんね。楽しめるか否か、その答えは自分自身の物事との係わり方次第で大きく変わってくるように思います。そして、3年半、本当に楽しかった！今そう思える最大の理由は、アクトを通じて良き先輩達に出会い、素敵な仲間達に囲まれていたからこそだと思います。皆様に感謝しながら、卒業していく事が私にとって一番の喜びです。本当にありがとうございました！

吉田 圭 会員

帯広ローターアクト卒業にあたり！！アクトに入会して3年で卒業という事になりました。自分は企業会員として入会しました。最初は聞いた事も活動内容も判らない変な会に入会？と思いました。まっ1年ぐらい頑張ればいいかなぁみたいな感じで思っていました。だけど、いざ入会してみると会員の皆が一つの事に一生懸命に取り組み活動している所を見ていると、最初思っていた気持ちでは会員の皆に迷惑を掛けてしまうと正直思い辞めようかなとも考えました。だが、こういう事から逃げ出していくは今後自分の将来にならないんじゃないかと考え直したりあえず1年は出来る限り頑張ろうと決心しました。1年が過ぎだんだんアクトの活動も理解できるようになり卒業まで頑張ってやろうと思った矢先に家庭での事情やら仕事上なかなか参加できなくなり2年、3年目と全く例会に参加出来なく非常に残念でした。最後に特に印象に残った人を挙げたいと思います。その名も齊藤さんです。最初見た時は、この人綺麗な女性？と思いました。風貌、声の高さ一体何者？と思い職業を聞いてみるとこれまた仰天！！！何と神主さんではありませんか。まッ自分も怖いもの見たさというか、人間的興味というかなんとなく齊藤さんと仲良くなりたいなと思った頃丁度同じ委員会になり話も出来、一緒に飲む機会も有り最高のアクト生活を送れて事を感謝したい。皆さんもあと何年かしたら必ず卒業となります、自分なりに精一杯頑張って楽しいアクト生活を送って下さい。

編集後記

茂古沼 理絵 会員

在籍最後の2年間、広報誌にたずさわせて頂きました。みなさんのご協力が無かつたら、成立しないものでした。いつも原稿依頼を快く引き受けて下さり、本当にありがとうございました！

谷本 陽子 会員

一年間無事広報誌を発行することが出来たのも、皆さん一人一人のおかけです。茂古沼さんに助けられながら広報誌を担当し、私自身とても勉強になりました。ありがとうございました。（皆さん、今後機会があればぜひ広報を担当してみて下さい。楽しいですよ。）